

令和元年度 事業実績報告

1 会議の開催

開催日	会議名	協議事項等
令和元年 5月9日	第1回 書面協議	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度事業実績報告及び決算について 平成31年度（令和元年度）事業計画（案）及び予算（案）について 地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について 瑞浪市地域公共交通総合連携計画の評価（案）について
令和2年 1月8日	第2回 本会議	<ul style="list-style-type: none"> 瑞浪市コミュニティバス運行内容の変更（案）について 瑞浪市デマンド交通運行内容の変更（案）について 地域内フィーダー系統確保維持計画事業評価について 恵那市コミュニティバス停留所の移設について

2 地域内フィーダー系統確保維持計画の認定申請

地域内フィーダー系統確保維持計画の認定申請を行った。平成31年2月に開催された、中部運輸局「第三者評価委員会」による事業評価（二次評価）において、デマンド交通の3つのルートのうち、稼働率が最も低い釜戸ルートの利用促進に努めるよう指摘があったため、この評価結果を計画に反映させるよう変更を行った。これまで「目標を達成するために行う事業」は「時刻表の全戸配布」のみだったが、これ以外に、制度説明会の積極的な開催や観光利用制度の促進といった、稼働率の向上や利用者の増加を図るための取り組みを講じ、計画に追記した。

3 運行内容の検討

令和2年4月からの瑞浪市コミュニティバス及びデマンド交通の運行内容について、地区要望及び利用者アンケートを踏まえて検討を行った。

コミュニティバスについては、日吉線の2つの系統で、運行経路の一部を変更した。北野地区と瑞浪駅前を結ぶ系統では、三和の郷地区住民の要望を受け、同地区内に停留所を新設し、路線の延長を行った。瑞浪駅前から市民公園を經由して細久手方面に向かう系統では、住宅が多い山野内・月吉地区を經由するように変更し、新たな需要の掘り起こしを図った。その他、土岐線・山田線・瑞浪中央線では、乗り継ぎ性を向上させるため、また区間の所要時間を適正分に変更するために発着時刻の調整を行った。

デマンド交通については、釜戸ルートに新たな乗降場所として「大久後」を設置し、周辺住民の利便性の向上と新規利用者の開拓を図った。

4 地域内フィーダー系統確保維持計画の事業評価

地域内フィーダー系統確保維持計画については、毎年、地域公共交通会議において事業評価を行う必要があり、計画の進捗状況について評価を行った。デマンド交通の利用実績が伸び悩んでいるため、高齢者が集まる場での説明会の機会を増やし、制度の周知に努めること、また、新たに作成した瑞浪市観光ガイドマップにデマンド交通の観光利用について掲載したので、これを活用し、観光客の利用増加を図ることとした。